

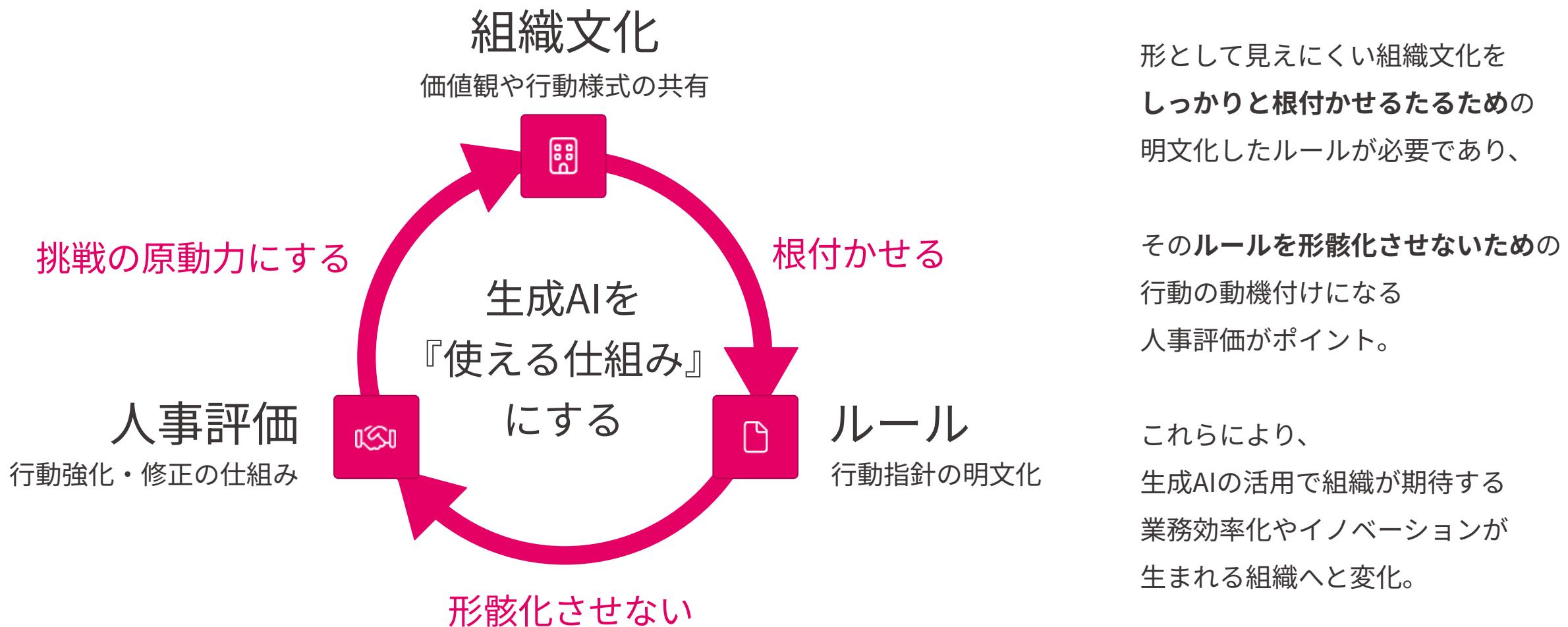


生成AIを『使える仕組み』にする 社内ルール・人事評価設計

2025.10.01

IT企画開発局 室長
システムエンジニア 兼 キャリアコンサルタント
石川未来

生成AIでイノベーションが生まれる組織文化とは



ルール設計のアプローチ

STEP 1 ガイドライン整備

全社的なガイドラインを整備。また、「どこまでAIを使ってよいか」を線引きした全社・部署別の利用基準も策定

対象	カテゴリ	内容
全社共通	機密情報	顧客情報、個人情報、機密情報は生成AIへの入力禁止
	倫理的配慮	著作権等を阻害しない、差別的表現や偏見を含まない
部署別	開発	コードの安全性
		生成されたコードは、セキュリティホールやライセンス問題を含まない
		モックへの活用
	営業	モックコードの自動生成を業務効率化に活用。
		画像
	誤情報の拡散防止	生成AIにより生成された画像であることを明記し、著作権を尊重する
バックオフィス	草案の補助	契約書の草案等に活用する場合は、最終チェックで誤りを確認する

STEP 2 リスクマネジメント

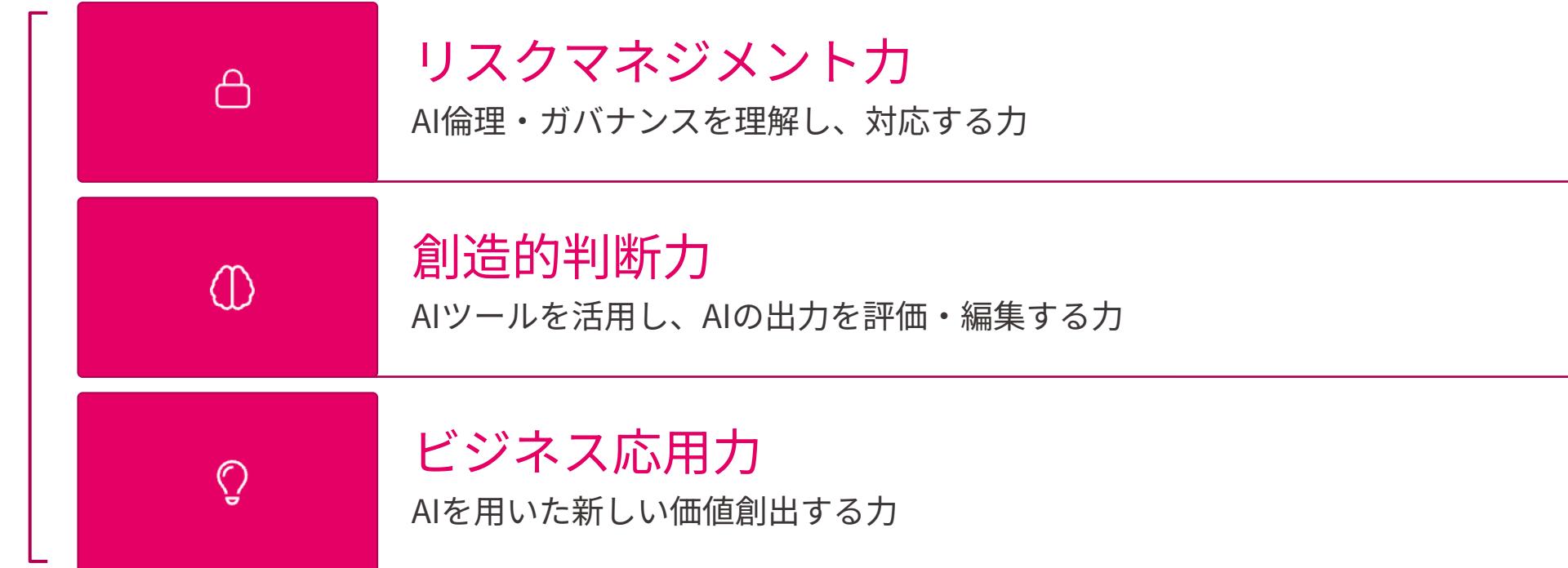
外部サービスの利用許可リストの提供や、モニタリング体制の確立により、情報セキュリティ等に対する管理体制を構築

Software Name	Purpose	Permission	Usage Restrictions	Group
ChatGPT / Free, Plus Plan	申請 / Apply			
ChatGPT / Team Plan	申請 / Apply	WSGL (WEBSTAFF Generative AI Lab)内のみ		
Claude	申請 / Apply			
DeepSeek	禁止 / NG			
Felo	禁止 / NG			
Gemini	Business利用可 / OK	社内情報・個人情報は入力不可		

理想的なルールは、過度に制限的でなく、イノベーションを阻害しないこと

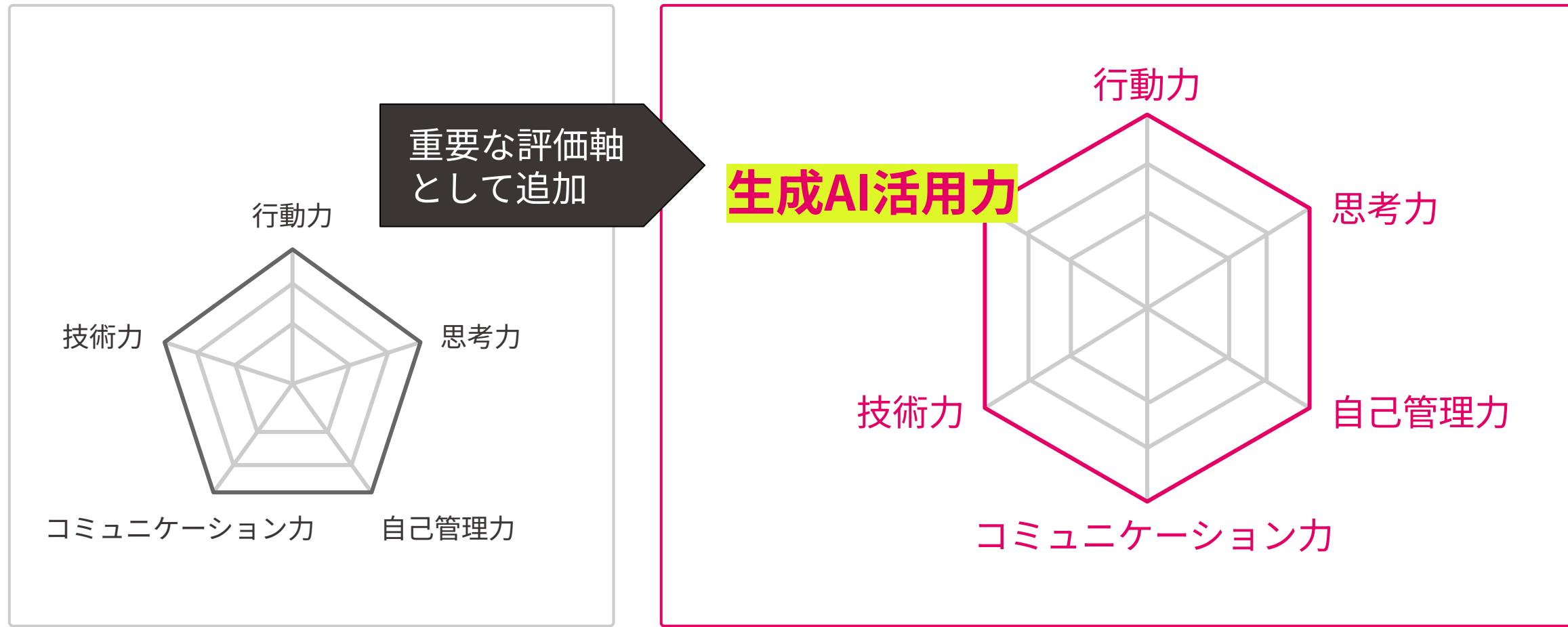
人事評価の新しい視点

生成AI活用力



特に、AIの出力をそのまま使用するのではなく、**批判的思考を持って改善できる能力や、AIを活用して新しいビジネス価値を創出する能力**は、今後の組織において極めて重要な要素

生成AI活用力の評価の位置づけ



評価軸をアクションに落とし込む

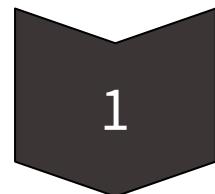
行動力	主体性	物事に進んで取り組む力
	働きかけ力	他者に働きかけ巻き込む力
	実行力	目的を明示し、確実に行動する力
思考力	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
	創造力	新しい価値を生み出す力
	柔軟性	新しいことへ適用する力
自己	評価軸	スケール
コミュニケーション	6	18
技術力	スキル	アクション
生成AI活用力	72	解する に至る 過程
技術力	信頼性	スケジュールを予測実行し、バグのない成果物を一貫して提供する力
	保守性	可読性や拡張性を意識した設計をし、資料を作成できる力
	リスクマネジメント力	AI倫理・ガバナンスを理解し、対応する力
生成AI活用力	創造的判断力	AIツールを活用し、AIの出力を評価・編集する力
	ビジネス応用力	AIを業務プロセスへ取り込み、新しい価値を創出する力

※経済産業省「人生100年時代」の社会人基礎力を一部参考

生成AI活用力で評価するアクション

生成AI活用力	リスクマネジメント力	AI倫理・ガバナンスを理解し、対応する力	1.知的財産権侵害・機密情報漏洩の防止のため、プライバシーポリシーと利用規約を理解し、ツールを使い分けている 2.社内で利用許可されていない生成AIツールを使う場合は事前に相談している 3.出力結果を鵜呑みにすることなく評価し、業務に最適な情報に修正し、結果を活用している 4.ハルシネーションを踏まえ、人間と生成AIの最適な役割分担やUIデザインを提案できる
	創造的判断力	AIツールを活用し、AIの出力を評価・編集する力	1.具体的な目的や目標、評価指標を明確にしたプロンプトが作成できる 2.出力結果を評価し、必要に応じてプロンプトのキーワードや条件を調整できる 3.汎用的なテンプレートを作り、チームに共有をしている 4.ワークショップや社内勉強会の場で情報発信ができる
	ビジネス応用力	AIを業務プロセスへ取り込み、新しい価値を創出する力	1.チームの課題に対して「AIができるか？」を検討し、活用方針を提案している 2.ニーズに応じて生成AI、または、その他ITの手段の選定、提案ができる 3.生成AIを活用した新しい業務フローやビジネスモデルを設計し、提案できる 4.プロトタイプ生成によるアイデア検証ができる

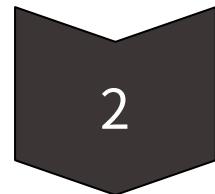
今後のプラン



1

チームの生成AI活用状況をヒアリング

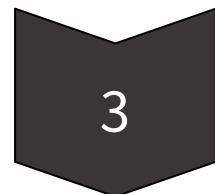
生成AI利用状況の把握と課題を明確化、
優先的に取り組む領域を特定



2

ガイドライン策定

絶対に抑えておきたいポイントを整理



3

リスクマネジメント

生成AIサービスのリストを作成し、リスクに関する認識をすり合わせ



4

小さな評価基準を試験導入

使用事例を日常ミーティングで共有。評価基準に照らし合わせて課題整理



5

／現在／

継続的改善

定期的な振り返りと評価を行い、精度と規模を拡大